

# 揖斐郡教育の更なる向上を願って

揖斐郡教育研究総会

さる1月24日（金）に、揖斐郡教育研究総会が、揖斐郡教育会と県小中学校教育研究会揖斐郡支部の共催により揖斐川町地域交流センター「はなももで」開催されました。この日は、郡内の450余名の教職員が集まり、講話や研究発表などを通して資質の向上に取り組みました。

## 第1部

はじめに、ご来賓から、「教育に求められるものが大きく変革する状況であるが、先生方に期待するところは大きい。」と激励の言葉をいただきました。

次に、教育研究実践論文の受賞者表彰がありました。今年は、論文の様式等が大きく変更されたため混乱が心配されましたが、昨年を大きく上回る45人の応募がありました。



2回の審査会を経て、優秀賞4名、入選10名、佳作31名が選出され、表彰されました。

続いて、西濃教育事務所長の寺田圭子様から、「学校は今と未来を創るところ」～学習指導要領の改訂と私～と題して、講話をいただきました。



新しい学習指導要領の全面実施を目前にして、これまでの日本の教育の歩みから現在を、そして未来を見ることについて、先生のご経験を交えながらユーモアたっぷりに、大変わかりやすく教えていただくことができました。

参加した一人ひとりが自分の役割を自覚して、今後も前向きに努力していこうという意欲をもつ機会になりました。

第1部終了後、教育研究実践論文の閲覧と、同時に開催している揖斐郡図工・美術作品展とふれあい作品展を鑑賞しました。



## 第2部

第2部では、今年度優秀賞を受賞された、中小学校の片倉陽子教諭から、「どの子にとっても学びやすい学校を目指して」～通級指導教室経営と特別支援教育コーディネーターとしての働きかけを通して～の研修主題で取り組まれた研究実践を発表していただきました。

合意形成を基本理念として、アセスメントや指導の工夫改善に積極的に取り組まれ、児童が自己肯定感を味わいながら主体的に学ぶ姿を伝えてくださいました。また、普段はなかなか分からない通級指導教室の現状を理解することもできました。



プログラムの最後は、教育研究実践論文の審査・講評でした。はじめに審査委員長の小倉千佳代校長先生から、応募状況の概要を示していただきました。その後、優秀賞を受賞された4名の先生方に登壇していただき、研究に取り組んだ動機や工夫した点、論文にまとめるまでのスケジュールや苦労したことなど、先生方にインタビューさせていただきました。



先生方から直接お話を聞くことで、教職員として学び続けることの大切さを、会場が一体となって共有することができました。

今年の研究総会は、プログラムの内容を大きく変更し、今後先生方に研修を進めていただく「きっかけ」となるよう取り組んできました。会を通して学んでいただいたことを、今後の教育実践に、そして揖斐郡教育の更なる向上につなげていきたいと思っております。